

しながわCSR推進協議会 活動レポート2017

● 総会を開催

平成 29 年 7 月 28 日 (金) に品川区役所で平成 29 年度しながわ CSR 推進協議会の総会が開催され、44 企業 50 人が出席しました。

開会にあたり、協議会会長(濱野健品川区長)より「CSR 協議会は平成 22 年 5 月に発足しました。今年が平成 29 年ですので、7 年前のことです。当時は 22 社でスタートいたしました。現在、会員企業は 73 社(※7/28 時点)となっております。徐々にではございますけれども、品川区の中に CSR が浸透してきていることの証であろうと思っております。」とあいさつがあった後、新規入会企業 8 社による社会貢献活動事例を交えた自己紹介、平成 28 年度協議会活動報告、平成 29 年度協議会活動予定の説明が行われました。

次に、各企業が日頃取り組んでいる社会貢献活動として東洋製罐グループホールディングス株から容器文化ミュージアムでの活動や環境出前授業の紹介、日本ペイント・オートモーティブコーティングス株から小学校での塗装ボランティアなどの CSR 活動をご紹介いただきました。

出席者は各企業の具体的な取組事例やその中での課題などについて、メモをとりながら熱心に聞き入っていました。



〈議 題〉

- (1) 平成28年度しながわCSR推進協議会の活動報告について
 - ①総会
 - ②課題別分科会
 - ③CSR講演会と活動事例発表会
 - ④合同活動(しながわ花海道、清掃美化活動等)
 - ⑤パネル展
 - ⑥その他(情報発信等について)
- (2) 平成29年度しながわCSR推進協議会の活動予定について
 - ①幹事会の設置について
 - ②課題別分科会について
 - ③合同活動について
 - ④パネル展について
 - ⑤「CSR講演会と活動事例発表会」について
 - ⑥メールマガジンについて
 - ⑦パンフレットについて
 - ⑧その他(しながわ職場歩き、各種イベント出展について)
- (3) PR動画の放映
- (4) 幹事会の設置について
- (5) 会員企業が取り組む社会貢献活動の紹介
- (6) 意見交換

● 課題別分科会（教育）を開催

平成 29 年 12 月 18 日 (月)、協議会では「教育」をテーマにした分科会を開催しました。27 企業 31 名が参加し、区の教育 CSR に関する意見交換を行いました。

まず区担当者より、「品川教育ルネサンス ～地域とともにある学校づくり～」と題して講話があり、その後「学校と企業の連携」について、品川コミュニティ・スクール等の説明がありました。最後に行われた意見交換では、区と企業間での活発な情報交換が行われました。



〈議 題〉

- (1) 講演：『品川教育ルネサンス ～地域とともにある学校づくり～』
- (2) 学校と企業との連携について
- (3) 意見交換・フリートーク



品川コミュニティ・スクールとは？

●目的

保護者・地域住民・学識経験者等が学校運営に参画することで、学校と地域住民が一体となって、継続性を保ちながら、教育活動の改善や児童・生徒の健全育成に取り組みます。また、地域全体で学校教育を支援することで、学校の教育活動の充実を目指すとともに、地域の人材の有効活用や地域の教育力の活性化を図ります。

●特徴

学校運営に参画する「校区教育協働委員会」と実際に学校支援を行う「学校支援地域本部」の2つの組織を同時に設置します。また、それぞれの組織の運営に関わり、学校と地域をつなぐ、学校地域コーディネーターを各学校に配置します。

学校地域コーディネーターとは？

学校地域コーディネーターは、児童・生徒(地域の子供)たちのために、学校で行われる教育活動の充実に向けて、学校支援のコーディネートを行います。

そのため、学校が必要とする支援について把握し、それに応じて、組織化した学校支援ボランティアの中から、適切な学校支援ボランティアを派遣します。また、企業・NPO・大学等からの学校支援のコーディネートも行います。さらに、地域の行事や地域での教育活動などについて、地域の要望を学校に伝えるなどの調整をします。

CSR講演会と活動事例発表会を開催

平成30年2月7日(水)、きゅりあん小ホールにて、CSR講演会と活動事例発表会を開催しました。

第一部 CSR講演会



テーマ 変わる日本の教育を支える
「教育CSR」を考える

講師 株式会社キャリアリンク
代表取締役 若江 眞紀 氏

講演会では、株式会社キャリアリンク代表取締役の若江眞紀氏を講師に招き、『変わる日本の教育を支える『教育CSR』を考える』として、学校を取り巻く環境・学習指導要領の改訂・教育CSR・企業の教育支援活動の方向性などについてお話されました。

また「教育CSRはコストではなく、未来への投資と捉えるべきである」と若江氏は熱弁されておりました。



● 第二部 活動事例発表会

協議会会員企業による活動事例の報告では、「いすゞ自動車株式会社」からの事例発表がありました。

現在、主に神奈川県の小中学校5年生を対象に実施している出張授業「DeuSEL®教室」(DeuSEL®…ミドリムシからつくったバイオディーゼル)のほか、デザイン教室やいもの教室などの「ものづくり体験ワークショップ」などについての説明があり、また、CSR活動を通じて社員のモチベーションアップにつながったという、社員に与えた効果についても話がありました。



参加者アンケートより ※一部抜粋

- ・教育CSRという視点、分野があることを全く知らなかったが、現在当社が行っている清掃美化活動やイベント開催での地域交流とはまた異なるCSR活動の切り口事例を知ることができ、大変ためになった。
- ・自社の課題にあっていたのでよかった。途中でワークがあったので最後まで集中して聞くことができた。
- ・とても聞きやすく、内容もわかりやすかった。自社と比較したり、参考にしたりと有意義だと感じた。毎回活動事例の発表は行ってほしい。
- ・社内の多くの部署を巻き込むこと、そして、継続することが大切であると感じました。